

公共圏における戦争・平和博物館の役割 第二次世界大戦終結80周年によせて Role of War and Peace Museums in the Public Sphere – Reflection on the 80th anniversary of WWII

日時：2025年3月23日（日）13:00～18:00

場所：東京外国語大学 プロメテウスホール

開催方法：対面のみ、日英同時通訳

タイムテーブル

13:00 開会あいさつ（篠原琢, 東京外国語大学）

13:10

石田芳文（広島平和記念資料館）

「記憶の継承：被爆の実相を人類共通の記憶としていくために～」

13:50

マテウシュ・ヤシク（第二次世界大戦博物館、グダンスク）

「『服用量が毒をつくる』（パラケルスス）：ポーランド社会、経済、政治における歴史の役割」

14:30

兼清順子（立命館大学）

「歴史へのアプローチの変化：平和博物館のリニューアルを中心に」

休憩（20分）

15:30

渡辺美奈（アクティブ・ミュージアム「わたしたちの戦争と平和資料館」(wam)）

「日本軍の性奴隷制を伝える：wamの活動から見てくること」

16:10

ミルヤム・ツアドフ（ナチ・ドキュメンテーション・センター、ミュンヘン）

「20世紀の教訓を忘れて：ポピュリズムの時代における記憶」

16:50

イシュトヴァーン・レーヴ（ブリンケンOSAアーカイヴ、ブダペシュト）

「再建：歴史博物館としての都市景観」

17:30 質疑応答

事前申し込み制（締切 3月22日17:00）

右記QRコード(<https://forms.gle/zc7pqeNmGzvn4xE88>)より、参加登録をお願いします。

